

令和3年度における主な取り組みについて

令和3年11月10日

目次

1. 脱炭素に向けた取り組み

- (1) 温室効果ガス削減アクションプログラムの推進 … 3
- (2) 家庭における温室効果ガス排出削減の推進 … 5

2. 資源循環の取り組み

- (1) プラスチック資源循環の推進 … 7
- (2) 食品ロス削減の推進 … 9
- (3) 緑のリサイクルの推進 … 10

- (参考) ごみ総量について … 11

1. 脱炭素に向けた取り組み

(1) 温室効果ガス削減アクションプログラムの推進

市域の温室効果ガス排出量の約6割を占める事業活動からの排出を削減するため、「仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、事業者と市が協働して計画的な温室効果ガス排出削減に取り組む。

・ 第一計画期間（令和2～4年度）の参加状況

| | 事業所数 (10月末現在) | 温室効果ガス削減効果 (最終年度削減量 (計画値)) |
|-------|------------------|-------------------------------|
| 特定事業者 | 90事業所 | 59,431t-CO2 |
| 一般事業者 | 48事業所 | 1,182t-CO2 |

・ 中小企業者等向けの補助

温室効果ガス削減アクションプログラム参加の中小企業者等向けに省エネ・再エネ設備、次世代自動車の導入に補助を実施。

| 補助制度 | 申請件数 (10月末現在) | 温室効果ガス削減効果 |
|--------|------------------|---------------|
| 省エネ設備 | 6件 | 32.81 t-CO2/年 |
| 次世代自動車 | 6件 (10台) | 71.37 t-CO2/年 |



▲ロゴマーク



▲LED照明設備



▲LPGハイブリッド車

・アクションプログラム参加事業者への訪問助言

外部専門家と市職員が事業所を訪問し、業種業態に応じた排出削減につながる助言を行うなど、事業者の取組を支援。

令和3年度実施数：46事業所（10月末現在）

事例

■ 蒸気圧力・温度の適正な管理

鉄鋼業における洗浄過程で使用されるお湯に関し、要求される温度と供給蒸気圧力の現状について、圧力緩和の余地が考えられるため、蒸気圧力低減の検討について助言を行い、今後の実施に向けて検討中。



▲蒸気ボイラー

■ 蒸気配管の保温・断熱強化

蒸気配管の保温状況を確認するため熱画像装置（サーモショット）を用いて蒸気配管の表面温度を測定し、バルブ等の断熱強化および配管表面温度の定期的な確認による管理について助言を行い、今後の実施に向けて検討中。



▲熱画像写真

(2) 家庭における温室効果ガス排出削減の推進

・省エネ家電買い替えキャンペーン

古い家電を省エネ性能の高い家電へ買い替えた方に、抽選でicscaポイント等の景品が当たるキャンペーンを実施。

対象家電は、家庭における電気使用量の割合が高い冷蔵庫及びエアコンとし、買い替えを促進。

| 申込件数 | 温室効果ガス削減効果 |
|------|--------------------------|
| 325件 | 45.8t-CO ₂ /年 |



エアコン・冷蔵庫

・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）普及促進補助金

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）※の基準を満たす住宅に設置される太陽光発電パネルなどの創エネ設備や省エネ設備等に対する補助を実施。

※ZEH（ゼッチ）…断熱性能を向上させるとともに再生可能エネルギーを導入することで、年間のエネルギー消費量の収支がゼロとなることを目指した住宅

| 申込件数 | 温室効果ガス削減効果 |
|------|---------------------------|
| 28件 | 111.7t-CO ₂ /年 |



ZEH

・熱エネルギー有効活用支援補助金

住宅や事務所などの窓を二重窓に改修する窓断熱改修や、家庭用燃料電池（エネファーム）等に対する補助を実施。

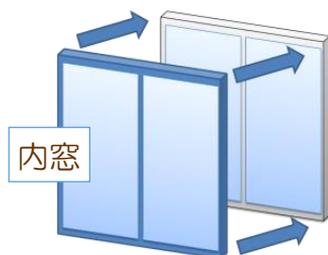
| 対象機器 | 申請件数 (10月末現在) | 温室効果ガス削減効果 |
|--------|------------------|----------------------------|
| 窓断熱 | 297件 | 96.2 t-CO ₂ /年 |
| エネファーム | 44件 | 61.6 t-CO ₂ /年 |
| 合計 | 341件 | 157.8 t-CO ₂ /年 |

窓断熱改修

エネファーム

内窓設置

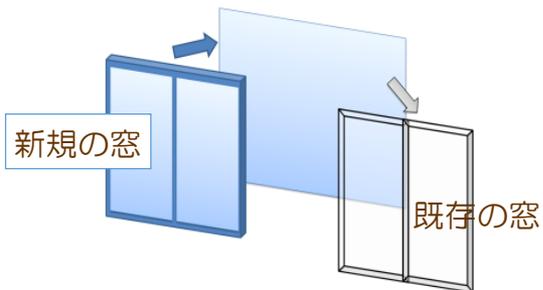
外窓交換



既存の窓

新規の窓

既存の窓



2. 資源循環の取り組み

(1) プラスチック資源循環の推進

・使い捨てプラスチック削減に向けた取り組み

「プラスチック資源循環促進法」（令和4年4月施行予定）に基づき、今後、事業者が使い捨てプラスチックの削減に向けた取り組みを求められる状況を踏まえ、法施行に先行して、企業と連携した取り組みを実施。

持とう・使おう マイボトルキャンペーン（期間：令和3年10月～11月）

- ・ マイボトル特設販売コーナーの設置
IKEA仙台、東急ハンズ仙台店



- ・ マイボトル持参による割引サービスの実施
スターバックス 19店（市内全店舗）
ホテルメトロポリタン
ローソン 89店



LAWSON

- ・ マイボトルでの持ち運びに便利な粉末飲料の販売促進
市内小売店舗 約200店



- ・ 各店舗への啓発ポップの掲示や、特設HPを通じた情報発信
- ・ 上記以外のマイボトル利用促進に係る取組・サービスの募集
および紹介



・製品プラスチックリサイクル実証事業

製品プラスチックを容器包装と一括回収し、リサイクルする実証事業について、各区1か所ずつ、延べ9カ月間実施。

全市展開に向け、大量のごみを正確かつ迅速にリサイクルする手法の確立やコスト抑制について検証を進めている。

| 【青葉区錦ヶ丘】 | 令和3年度実証事業（速報） | | | | 令和2年度 実証事業 |
|----------|---------------|---------|---------|---------|---------------|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 平均 | |
| 回収量 | 8,180kg | 8,560kg | 8,200kg | 8,313kg | 7,830kg |
| 製品プラスチック | 3.7% | 2.8% | 5.6% | 4.0% | 9.5% |

令和2年度に比べて製品プラスチックの割合はやや低いものの、プラスチックごみの回収量は増加

・水平リサイクルの取り組み

家庭から収集した使用済みペットボトルを、新たなペットボトルへ水平リサイクルし、地域内での循環利用に取り組むため、令和3年10月に（株）伊藤園、ティーエムパック（株）と協定を締結。

令和4年度から事業を開始し、年間2千トンの使用済みペットボトルを引渡し、約1億本の再生ペットボトルに水平リサイクルされる予定。



▲協定締結式の様子

(2) 食品ロス削減の推進

・フードドライブの実施

家庭の未利用食品を集めフードバンク等に提供するフードドライブ事業について、回収拠点の設置や食品の運搬において民間企業・団体の協力を得ながら、拠点・期間を拡大して実施。

また、希望する企業やイベント主催者に回収ボックス等を貸出。



▲商業施設に設置した未利用食品の回収拠点

| 年度 | 実施期間 | 回収拠点数 | 回収実績 |
|--------|------|------------------|---------------------|
| 平成30年度 | 1か月 | 9か所 | 約485kg |
| 令和元年度 | 2か月 | 17か所 | 約1,764kg |
| 令和2年度 | 6か月 | 18か所 | 約7,605kg |
| 令和3年度 | 通年 | 24か所 (10月末現在) | 約7,515kg (9月末現在) |

【令和3年度の概要】

常設回収拠点：イオン、ヤマザワ、藤崎本館、エスパル仙台、東急リバブル
仙台市福祉プラザ、市役所本庁舎、リサイクルプラザ
このほか期間限定で区役所等に設置

運搬協力：JT東北支社、宮城中央保険、パソナ、アートインクルージョン、
BTM、リコージャパン宮城支社、つどいの家、東急リバブル

提供先：フードバンク仙台、ふうどばんく東北AGAIN、
仙台市社会福祉協議会

(3) 緑のリサイクルの推進

・家庭系剪定枝資源化事業

家庭で剪定した庭木の枝・幹について、粗大ごみ収集ルートを活用した戸別収集又は自己搬入により無料で回収してチップ化し、堆肥の原料や燃料にリサイクルする取り組みを実施。



※自己搬入も受付 (5~3月)

| 年度 | 受付件数 | 再資源化量 |
|------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 平成30年度 | 508件 | 58トン |
| 令和元年度 | 1,720件 | 194トン |
| 令和2年度 | 1,169件 | 159トン |
| 令和3年度 (9月末現在) | 808件 (前年同期比+46%) | 103トン (前年同期比+62%) |

※平成30年度は、モデル事業として期間を限定して実施

(参考) ごみ総量について

(トン、%)

| | 令和元年度 | | | 令和2年度 | | | 令和3年度 |
|------------------------|---------|---------|---------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| | 4-9月 | 10-3月 | 年間計 | 4-9月 | 10-3月 | 年間計 | 4-9月 |
| ごみ総量 (前年同期比) | 193,677 | 179,696 | 373,373 | 188,865 (△2.5) | 174,471 (△2.9) | 363,336 (△2.7) | 188,402 (△0.2) |
| 生活ごみ (前年同期比) | 120,891 | 113,344 | 234,235 | 125,310 (3.7) | 115,337 (1.8) | 240,647 (2.7) | 123,860 (△1.2) |
| 事業ごみ (前年同期比) | 72,786 | 66,352 | 139,138 | 63,555 (△12.7) | 59,135 (△10.9) | 122,689 (△11.8) | 64,542 (1.6) |

- 令和3年度上期におけるごみ総量は、前年度とほぼ同程度となっている。
- 生活ごみについては、令和2年度はコロナ禍で在宅時間が増えたことによる影響により、前年度比2.7%増となったが、令和3年度上期は、前年同期に比べて減少している。
- 事業ごみについては、令和2年度は外食控え等により前年度に比べて大きく減少したものの、令和3年度上期は、前年同期に比べて増加している。